

都市中心街路におけるイメージ構造よりとらえた景観計画手法の構築

- 街路ファサードにおける色彩の布置とイメージ形成との関係性 -

日大生産工(院) ○三沢 浩二
日大生産工 大内 宏友

1. はじめに

本稿は前稿に引き続くものである。前稿では、銀座の中心街路における外来者の行動特性を、圏域図示法^{*1}を用いて作成した行動強度図より各類型ごとに分析を行った。本稿では、前稿で導き出した各類型ごとの行動強度特性と銀座地域のメインストリートである晴海通り・中央通りの街路ファサードにおける色彩認知の布置との関係性について比較、分析を行う。

2. 分析

銀座地域の晴海通り・中央通りの街路ファサードの色彩調査より得られたアクセントカラー^{*2}の分布位置と既往研究より得られた各類型の色彩認知とを比較することで外来者が認知している色彩の位置を把握する。

2.1. 色彩認知の布置と行動強度特性との比較

色彩調査の際に作成した立面図にアクセントカラーを配色し、各類型の認知の高い色彩をプロットしていく。尚、色彩認知調査ではカラーチャート^{*3}を直接選んでもらい、街路ファサードの色彩調査ではカラーチャートを色票にし壁面を測色しているため、比較が容易である。認知されている色彩の位置をプロットし、プロットした点を多項式近似曲線で示すことにより、色彩認知の布置の傾向を視覚的に確認できる。色彩認知と行動範囲の強弱との関係を以下に示す。

【類型】晴海通り・中央通り全ての街路ファサードにおいて、行動強度が高い範囲では低層の色彩を認知し、逆に行動強度が低い範囲では

高層の色彩を認知していた(図-1、図-2、図-3、図-4)。またその中でも色相R、色相RP、色相PBの色彩の割合が多い。

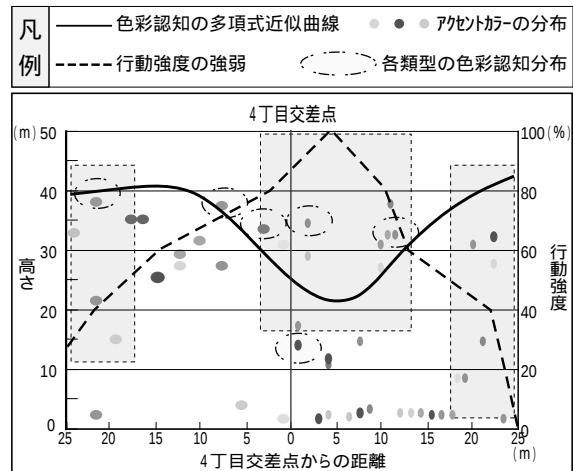


図-1 晴海通り北側アクセントカラー分布図-類型

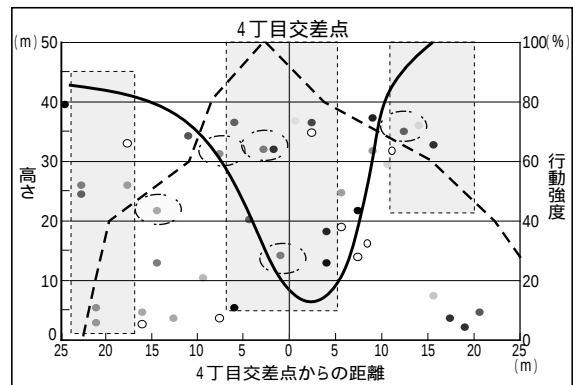


図-2 晴海通り南側アクセントカラー分布図-類型

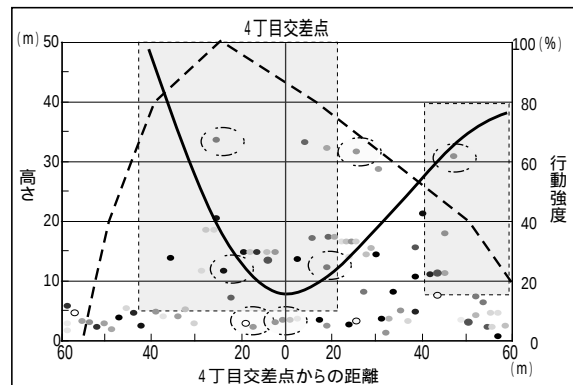


図-3 中央通り東側アクセントカラー分布図-類型

The construction of landscape planning technique of looking at image structure in city main street
- Relation of color arrangement and image formation in street facade -

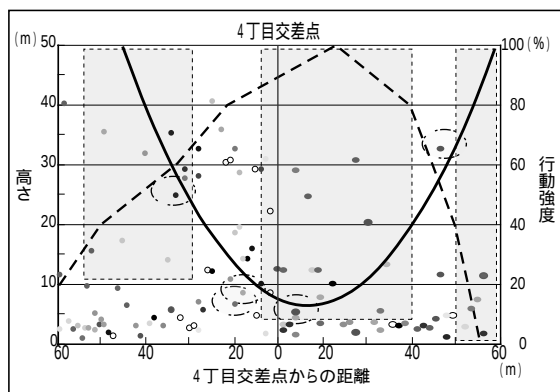


図-4 中央通り西側アクセントカラー分布図 -類型

【類型】 行動強度の強弱の範囲に関係なく色彩を認知している。主に1m～15mといった低層・中層の色彩を認知している（図-5、図-6、図-7）。また、晴海通り南側立面では認知している色彩はほとんどなかった。

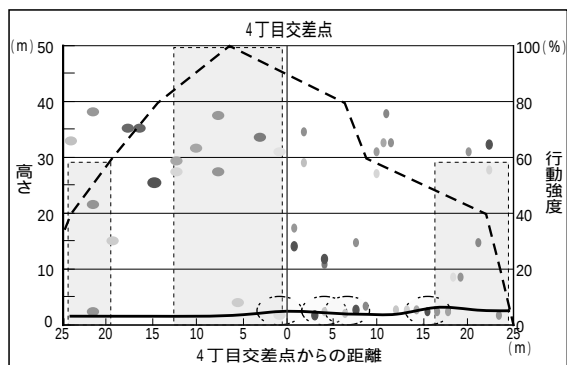


図-5 晴海通り北側アクセントカラー分布図 -類型

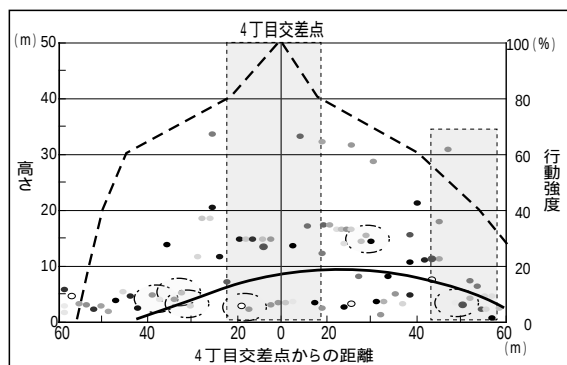


図-6 中央通り東側アクセントカラー分布図 -類型

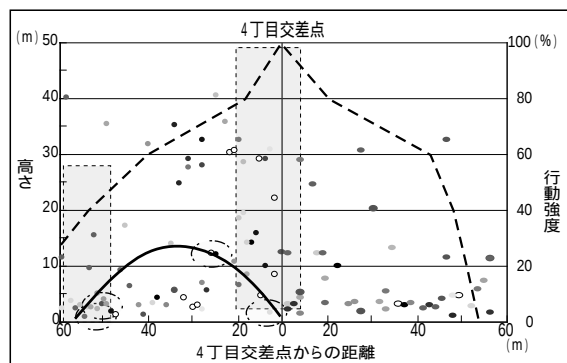


図-7 中央通り西側アクセントカラー分布図 -類型

【類型】 銀座4丁目交差点付近の行動強度の高い範囲で高層の色彩を認知し、行動強度の低い範囲では主に低層の色彩を認知している（図-8、図-9、図-10、図-11）。その中でも色相G、色相Bの割合が多い。

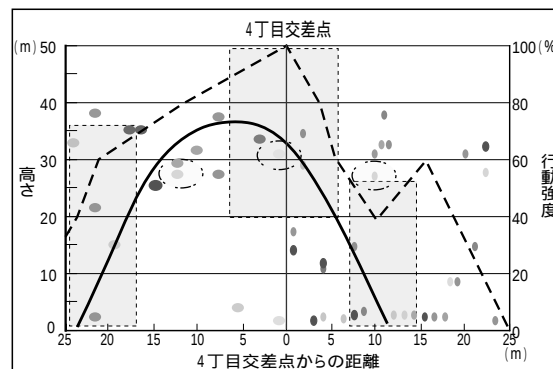


図-8 晴海通り北側アクセントカラー分布図 -類型

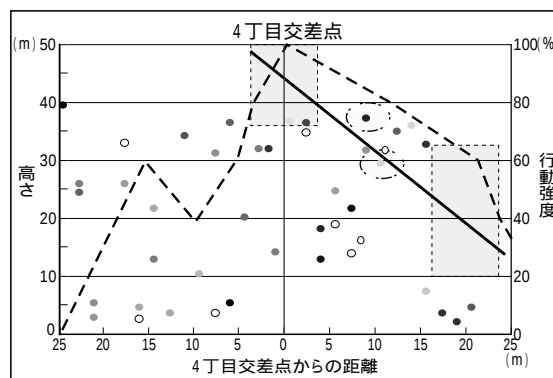


図-9 晴海通り南側アクセントカラー分布図 -類型

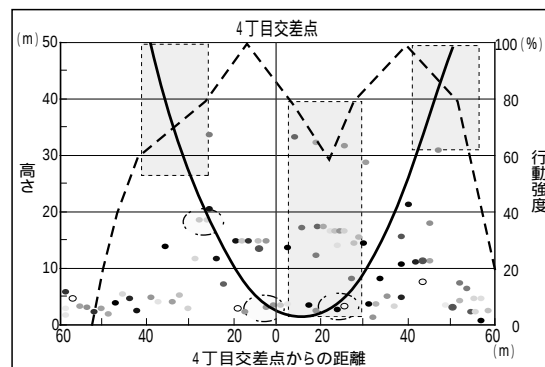


図-10 中央通り東側アクセントカラー分布図 -類型

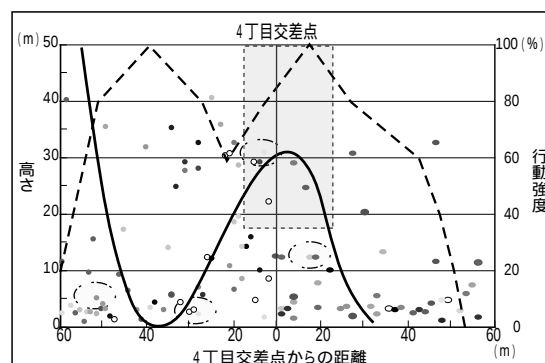


図-11 中央通り西側アクセントカラー分布図 -類型

【類型】 行動強度の高い範囲では低層の色彩を、行動強度の低い範囲では中層・高層の色彩を認知している（図-12、図-13、図-14、図-15）。その中でも色相R、色相RPの割合が多い。

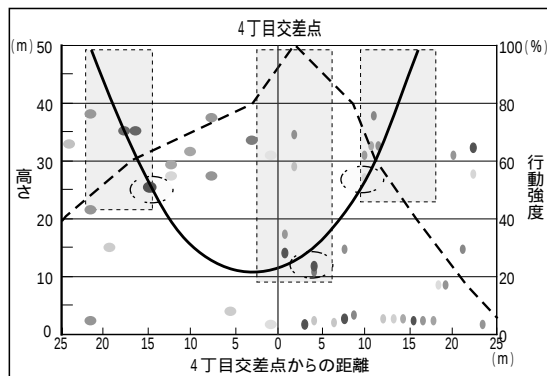


図-12 晴海通り北側アクセントカラー分布図 -類型

【類型】 行動強度の高い範囲では高層の色彩を、行動強度の低い範囲では低層・中層の色彩を認知している（図-16、図-17、図-18、図-19）。その中でも色相R、色相Yの割合が多い。

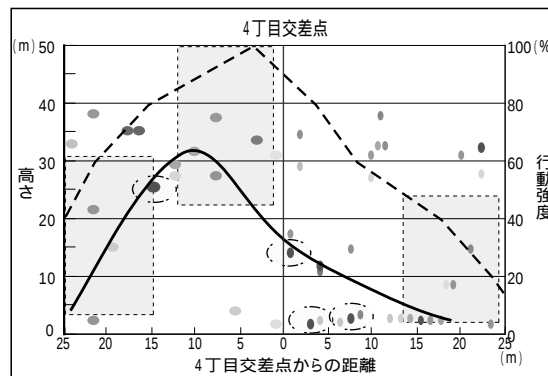


図-16 晴海通り北側アクセントカラー分布図 -類型

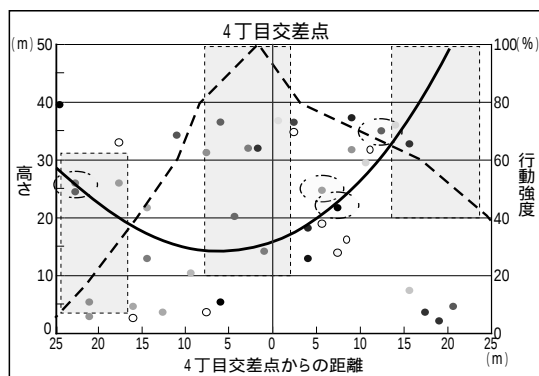


図-13 晴海通り南側アクセントカラー分布図 -類型

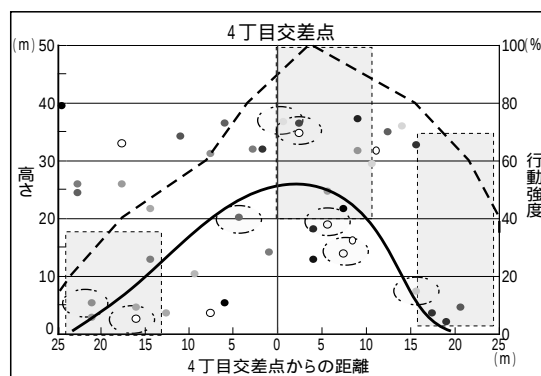


図-17 晴海通り南側アクセントカラー分布図 -類型

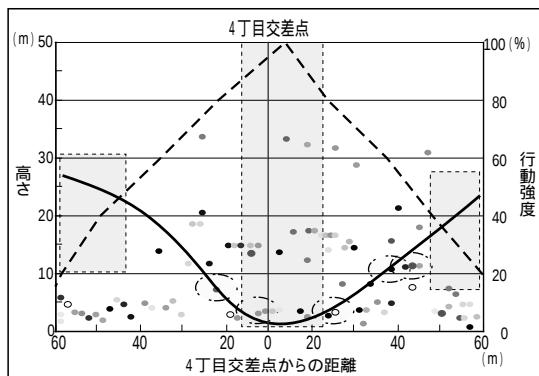


図-14 中央通り東側アクセントカラー分布図 -類型

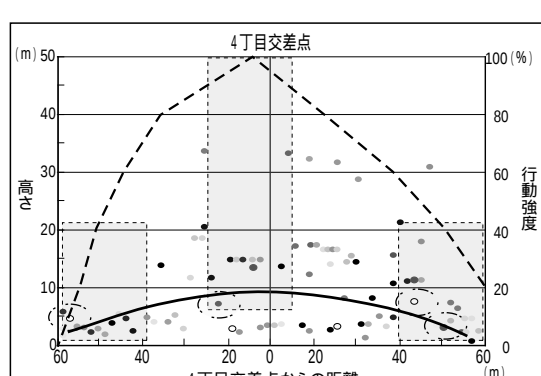


図-18 中央通り東側アクセントカラー分布図 -類型

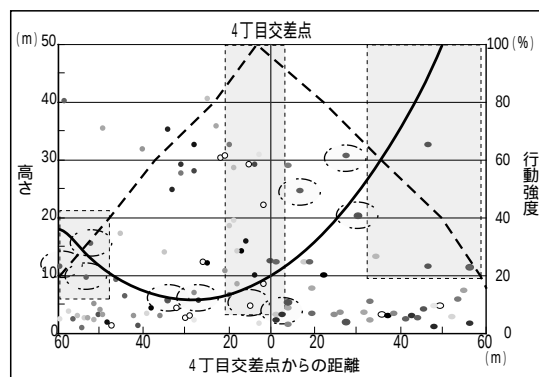


図-15 中央通り西側アクセントカラー分布図 -類型

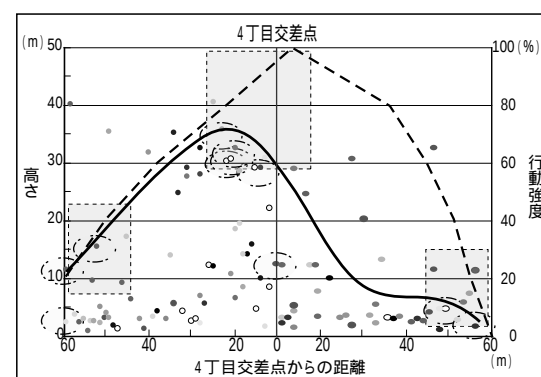


図-19 中央通り西側アクセントカラー分布図 -類型

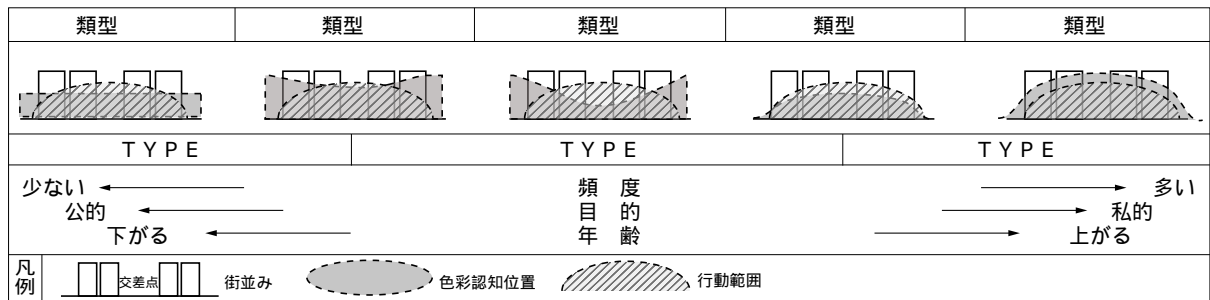


図 - 20 行動特性と認知色彩の布置との関係

3.まとめ

既往研究の心理量分析による5つのタイプの色彩認知と、それを踏まえて導き出した各タイプの行動特性と物理量調査で得られた晴海通り・中央通りの街路ファサードのアクセントカラーとの比較により以下のような関係がみられた。

各タイプの色彩認知の位置と行動強度とを比較すると大きく3つの傾向がみられた(図-20)。

【TYPE 1】行動強度に関係なく低層・中層の色彩を認知する型

【TYPE 2】行動強度が高い範囲で低層の色彩を認知し、逆に行動強度が低くなる高層の色彩を認知する型

【TYPE 3】TYPE 1と全く逆の型で、行動強度が高い範囲で高層の色彩を認知し、逆に行動強度が低くなると低層の色彩を認知する型

よって、銀座に訪れる外来者【TYPE 1】は、低・中層といった歩行しながら目に入りやすい色を認知し、【TYPE 2】は、頻繁に訪れる範囲(行動強度が高い範囲)から遠方で高層に位置する色彩も認知し、【TYPE 3】では、頻繁に訪れる範囲の真上や向い側の建物といった高層に位置する色彩を認知しているといえる。

以上のことから、銀座地域に訪れる外来者が街路ファサードのどの位置の色彩を認知しているかが明確になった。今後の展開として、既往研究の渋谷、原宿地域も同様の手法を用いて分析することにより、外来者の色彩認知構造をより普遍的な観点で明確にし、街路景観の計画手法の判断指標になるよう検討、研究していく予定である。

注釈

*1 圏域図示法

対象地域の範囲を示す適切なスケールの地図を提示し、その上に被験者の特定の領域、または境界点、分節点を記入してもらうものである。よって評価空間の把握を目的とするものといえる。

*2 アクセントカラー

強調色。建物の中で全体の約10%を占める色。建物を引き締める色。

*3 カラーチャート

色の3属性である色相、明度、彩度のうち、明度と彩度を合わせてトーンとして表現し、色を色相×トーンで表した表。有彩色について10色相×12トーンに区分した120色と無彩色について明度10段階に区分した10色、計130色で構成される。

<色相>

R(Red) YR(Yellow Red) Y(Yellow) GY(Green Yellow) G(Green) BG(Blue Green) B(Blue) PB(Purple Blue) P(Purple) RP(Red Purple)

<トーン>

派手: V(Vivid さえた) S(Strong つよい)

明るい: B(Bright あかるい) P(Pale うすい) Vp(Very Pal とてもうすい)

地味: Lgr(Light grayish あかるい灰みの) L(Light あさい) Gr(Grayish 灰みの) Dl(Dull にぶい)

暗い: Dp(Deep こい) Dk(Dark 暗い) Dgr(Darkgrayish 暗い灰みの)

)

調査用カラーチャート (Hue&Tone system)

トーン	色相	R	YR	Y	GY	G	BG	B	PB	P	RP	Neutral
V												
S												
B												
P												
Vp												
Lgr												
L												
Gr												
Dl												
Dp												
Dk												

引用文献

- 1) 富田雅美、田胡智子、大内宏友：都市景観における街区の色彩構成と環境認知及び行動特性との相関について - 銀座・原宿地域におけるケーススタディ -、日本建築学会技術報告集 第17号、pp.279-282、2003.06
- 2) 田胡智子、大内宏友：都市景観における街区の色彩構成と環境認知及び行動特性との関係性 - 銀座・原宿・渋谷地域における色彩認知3Dモデルの構築 -、第26回情報・システム・利用・技術シンポジウム(論文)、pp1-6、2003.12
- 3) 三沢浩二、柳瀬英江、大内宏友：都市景観における街区の色彩構成と環境認知及び行動特性について - 銀座の晴海通り・中央通りにおける街区の色彩構成 -、日本建築学会大会学術講演梗概集 F-1、pp.285~pp.286、2006

参考文献

- 1) 奥俊信：景観と視覚・心理、日本建築学会総合論文誌 第3号、pp139-142、2005.2
- 2) Kevin Lynch: The Image of the City、MIT Press、1960、丹下健三他共訳：都市のイメージ、岩波書店、1968
- 3) Roger M Downs & David Stea: IMAGE AND ENVIRONMENT、Aldine Publishing、1973、曾田忠宏他共訳：鹿島出版会、1976
- 4) 日本色彩学会：色彩用語辞典、東京大学出版社、2003